

令和7年度第1学年保健体育年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	知識(学習カードや定期テスト：具体性・有効性) 技能テスト(動きの質と再現性)
観点2	思考・判断・表現	学習カードや定期テスト（具体性・妥当性） 運動観察（練習方法等）
観点3	主体的に学習に取り組む態度	粘り強く取り組む態度 学習の調整

週3時間

(授業者；酒井)

(授業者；安田)

学習時期		指導計画		観点			評価時期	小学校の学習との関連
期	月	学習単元	学習内容	1	2	3		
1	4	・陸上競技（短距離走） （走り幅跳び） （リレー）	体育分野 【観点①】各単元の特性や魅力に応じて・ ・技術の名称や行い方 ・体力の高め方 ・運動観察の方法 ・伝統的な考え方 ・交流や発表の仕方 ・基本的な技能や動きの習得。 ・運動の合理的な実践(運動に関わる一般原則) （運動に伴う事故防止等） 【観点②】各単元の特性に応じて・・・ ・自己や仲間の課題を発見する。 ・合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【観点③】各単元の特性に応じて・・・ ・愛好的態度 責任 協力 参画 共生 ・健康・安全 を理解し取り組むこと。	○	○	○	1	小学校から高等学校までの12年間を見通して、各種の運動の基礎を培う時期、多くの領域の学習を経験する時期、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるができるように、発達段階に踏まえて関連を図っていく。
	6	・球技（ゴール型）		○	○	○	1	
	7	・水泳（クロール・平泳ぎ）		○	○	○	2	
	9	・体づくり運動 （体ほぐしの運動） （体の動きを高める運動）		○	○	○	2	
	10	・球技（ベースボール型）		○	○	○	2	
	11	・器械運動（マット運動・跳び箱運動）		○	○	○	2	
	12	・武道(柔道)		○	○	○	3	
	1	・ダンス(現代的なリズムのダンス)		○	○	○	3	
	2	・球技(ゴール型)		○	○	○	3	
	3	・球技(ネット型)		○	○	○	3	
	通年	・体育理論	体育理論 ・運動やスポーツの多様性	○	○	○	通年	
	通年	・保健分野	保健分野 ・心身の機能と発達と心の健康 ・健康な生活と疾病の予防	○	○	○	通年	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ①授業にふさわしい心構えをつくり、服装や用具をしっかりと整えて参加する。
- ②欠席・遅刻・見学・忘れ物・早退などはなるべくしないように注意する。
- ③先生の話をよく聞き、学習課題を理解して授業に取り組む。運動の特性を理解し、楽しんで積極的に授業に参加する。
- ④評価の中では、実技面が重視されるので、練習に積極的に取り組み、実技テストをきちんと受ける。また、記録や計測のしっかりと行う。
- ⑤授業態度も重視するので、体育着を着用して服装を整え、髪型などみだしなみにも注意する。
- ⑥言われたことだけでなく、自ら進んで学習に取り組む姿勢を身につける。
- ⑦ケガをしない、させないことを徹底し、安全の管理に配慮する。